

1. 市民意見に対する市の基本的な考え方

「箕面市緊急プラン（素案）・ゼロ試算」にいただきましたご意見に対する回答が大変遅れましたことを深くお詫びいたします。いただいたご意見は、全部局と共有化を図り、市内部での議論・調整を経て、平成21年度の当初予算案や条例案に反映できるものを反映し、平成21年第1回箕面市議会定例会において様々な視点・角度からご議論をいただいたところです。

既に平成21年(2009年)2月13日には『「箕面市緊急プラン（素案）ゼロ試算」に関する市民意見募集の結果と市の考え方について』として、ご意見に対する市の考え方（回答概要）や平成21年度当初予算案との比較を概括して公表させていただきました。今回は、市内部での意思形成過程における議論やその結果、市議会における審議内容などを踏まえ、改革87項目に対する現時点での市の考え方をお示しするとともに、いただきました528件に対する回答をお示しするものです。

回答の作成にあたっては、既にお示ししている主なご意見に対する市の考え方、平成21年度当初予算において確定した内容などを踏まえ作成したもので、確定していない改革項目（平成22年度以降に予定されている改革項目や、平成21年度の実施が見送りとなった「保育料の改定」や「障害者福祉作業所等へ補助金の見直し」など）については、意思形成過程における現時点での考え方をお示ししたものです。

なお、「子ども施策」及び「障害者施策」に対するご意見は同じ内容のご意見が多かったことから、最初に基本的な考えを示しています。

本市では、地方分権時代にふさわしいまちづくりを進めるために、平成14年に「箕面市経営再生プログラム」を策定し、自治体経営という視点にたって行財政改革を進めてきました。しかしながら、予測を上回る少子・高齢化の進展に加え、三位一体改革による国からの税源移譲が遅々として進まない上、昨年末の米国のサブプライムローン問題に端を発した100年に1度とも言われる世界的経済不況を受け、さらにスピード感を持って行財政改革を進めなければ未来の子供たちに大きな負担を強いることとなり、ひいては持続可能な魅力あるまちづくりが実現困難になるとの認識のもと「箕面市緊急プラン（素案）・ゼロ試算」を策定したものです。「箕面市緊急プラン（素案）・ゼロ試算」は意思形成過程の情報であり、平成23年度の予算編成までは議論・変更・修正を重ね、説明会や意見募集などを行っていく予定です。今後早い時期に平成21年度予算を反映した「箕面市緊急プラン（素案）・ゼロ試算 Ver.2（Ver.1改訂版）」を作成・公表するとともに、さらには平成22年度予算編に向けて「箕面市緊急プラン（素案）・ゼロ試算 Ver.3」を作成・公表し、意見募集を行う予定になっております。

平成21年(2009年)5月19日
箕面市改革特命チーム“ゼロ”